

問う！
ココを
市政の

一般質問

市のさまざまな施策や課題等について、議員が自身の提案も含めて市の考えを質するのが一般質問。6月定例会で出された「109」の質問から、厳選した内容をダイジェストで紹介します。

地場産業振興・企業誘致・人財確保

伝統工芸九谷焼の振興策	p.7
中小事業者の人材確保	p.9
持続可能なまちづくり	p.10
データセンターの誘致	p.11

子育て・住環境の充実

水の安全と水循環の保全	p.8
こども性暴力防止法の体制	p.14
ピーファス汚染問題	p.14

交流人口の拡大

大型屋内遊戯施設の整備	p.13
-------------	------

教育力の向上

不登校児童生徒の給食支援	p.8
学校の在り方の検討	p.9

行財政改革

第3次総合計画の策定	p.10
市の労働安全行政	p.11
ハラスメント事案の調査	p.12
風通しの良い職場づくり	p.13

その他

重点支援交付金の活用	p.12
------------	------

15名が
登壇

詳しい内容は
こちらから



※6月定例会の会議録は
9月上旬に公開予定です

本紙掲載以外の質問については、各議員のページに設置している二次元コードからYouTubeでご覧いただけます。

A 九谷焼業界では、海外との取引を行っている事業者はあるものの、インバウンド観光客の受入れという観点では、多言語対応やキャッシュレス化、SNSによる情報発信などの取組に事業者ごとの差が見られる。

Q 外国人観光客を意識した施策は十分なのか

業界全体で力を合わせて対応を一層充実させていくことで、九谷焼のインバウンド観光客受入れの可能性が大きく発展し、九谷焼の魅力がさらに広がることを期待している。

市としても、金沢に集中しているインバウンドの流れを南加賀地域への誘客につなげるため、石川県と連携を図りつつ、

答弁

インバウンド需要
取り込みへ連携

伝統工芸九谷焼の
振興策を問う



▲多くの来場者で賑わう九谷茶碗まつり

九谷焼事業者や観光関係者とも連携しながら九谷焼の魅力発信と受入環境の向上に努め、インバウンド需要の取り込みにつなげていきたい。

田中 大佐久 議員
能美保守の会



私はこう考える！討論で「賛成」「反対」

議案第44号

能美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の
専決処分の承認を求めることについて

反対

佐伯 富美子 議員（日本共産党）

国保会計から支出はそもそも目的外国民健康保険特別会計から「子ども・子育て支援納付金分」を支出するのはそもそも目的外支出で賛成できない。

賛成

今尾 晃司 議員（流和のみ）

社会全体で子育てを支え合う仕組み医療の高度化等に対応するため課税限度額を引き上げ、併せて「子ども・子育て支援納付金分」により社会全体で子育てを支え合う仕組みに意義を認める。

賛成少数で不採択

憲法改悪に反対し、平和憲法を生かす施策の推進を求める請願

近年、憲法改悪への動きが強まり、海外での武力行使の拡大や軍備拡張を進める議論が行われている。国に対し、日本国憲法の改悪に反対し、平和主義を堅持することを求める意見書、軍拡ではなく、社会保障、教育、子育て支援などの充実を求める意見書を提出し、本市として、憲法の理念を生かした平和行政と人権尊重の施策の一層の推進を求める。

請願者：能美市9条の会準備会 代表 近藤 啓子

紹介議員：佐伯 富美子

賛成少数で不採択

OTC類似薬の患者負担増など「健康保険法改正」の中止を求める意見書を国に提出する請願

政府の進める「健康保険法の改正」は大きな問題点を含む。第1に「一部保険外療養」を創設し、OTC類似薬について薬剤費の4分の1を「特別料金」として保険外の負担を患者に求める。第2に保険適用外の対象は医療行為全般まで拡大しかねない。以上の趣旨から、OTC類似薬負担増など「健康保険法改正」の中止を求める意見書の提出を求める。

請願者：新日本婦人の会グリーンピース班 班長 山内 百合子

紹介議員：佐伯 富美子

6月定例会 議決結果と議員の賛否



全議案の議決結果は
市議会ホームページで
公開しています

議案18件・請願2件のうち
賛否が分かれた議案

○：賛成
×：反対

	議決結果	山崎主税	牧野緑	山本峰子	中野廣志	荒井昌宏	中村純子	澤田貞	佐伯富美子	今尾晃司	卯野修三	仙台謙三	山本悟	田中大佐久	田中策次郎	南山修一	東正幸
能美市本社機能立地促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
能美市介護老人保健施設条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の報告について（能美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて）	承認	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
憲法改悪に反対し、平和憲法を生かす施策の推進を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
OTC類似薬の患者負担増など「健康保険法改正」の中止を求める意見書を国に提出する請願	不採択	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×

議長は採決に加わりません

水の安全と水循環の保全を問う

答 弁
環境への配慮に努めていく

Q 水道水、水源池、河川、農業用水、地下水において、ネオニコチノイド系農薬を含む農薬類の検査は行われているのか

A 判断基準がなく、実施していない。現時点では、市独自でネオニコチノイド系農薬の検査を実施する予定はない。

Q 耕作放棄地や休耕田を水循環や生物多様性を支える地域資源に活用する考えは

A 鍋谷町地内では、地域と民間事業者との連携により、国の補助事業を活用し、農地の保全と地域資源の有効活用を一体的に進める取組も行われている。地域の取組や民間事業

まきの
みどり
牧野 緑 議員
無会派



Q 多自然型の農業用水路整備をどう捉えているか

A 生物多様性の保全や豊かな水辺環境を次世代へ継承していく上で重要であると認識している。



▲水辺に暮らす生き物たち (イメージ 図)

こんな質問も

- ・HPVワクチン
- ・子宮頸がん検診
- ・地域医療体制



市内中小事業者の 人材確保を

答 弁
大学生やUIエター
就職を支援

Q 既存の市内中小企業から大手企業に人材が流れないように、市としてどのような対策を講じていくのかを問う

A 市内の中小企業にとって、従業員が大手企業に流出してしまうおそれがあることを課題と認識している。

は、新たな雇用の創出と人材の定着が重要。それぞれの企業において、働く人が心身ともに健康で、安心して働き続けられ、多様な人材が能力を発揮できる環境を築いていけるよう、市としても積極的に支援をする。

みなみやま
しついで
南山 修一 議員
流和のみ



▲竣工が予定されている造成地

こんな質問も

- ・空き家、空き地
- ・公社のサービス
- ・指定管理者制度



不登校児童生徒の 給食支援を問う

答 弁
社会とのつながりを
給食で育む

Q こどもまんなか社会の実現に向け、不登校児童生徒への給食提供支援の進捗と、今後の取組を問う

A 不登校児童生徒や学校に通えず家で過ごす児童生徒と保護者を対象に、市学校給食センターで給食を提供する「のみつこキッチン」を開始する。教育センターでの実施は運営上の課題があったため、給食センターを運営する能美スクーランチパートナーズの協力を得て実現した。まずは月1回程度、人気メニューの日に開催し、児童生徒は無料、保護者は実費負担とする。予約不要で、安心して利用できる。

問仕切りの設置やリラック
スして楽しく食事ができるよ

たなか
さへじろう
田中 策次郎 議員
創生のみ



▲のみつこキッチン 1 回目メニュー

こんな質問も

- ・メタバース授業
- ・耐風工事助成
- ・耐震シエルト



学校在り方検討委は どんな検討を

答 弁
5つの案を提示し、
議論を深める

Q 浜小学校・根上中学校
学校の在り方検討委員会
の検討の方向性は

A 学校ごとの施設整備にとどまらず、学校の適正配置や統合も視野に入れて多角的、多面的に検討を行う。

具体的には、案1は、浜小学校、根上中学校ともに改築。案2は、浜小学校は改築、根上中学校は長寿命改修。案3は、浜小学校、根上中学校ともに長寿命改修。案4は、浜小学校と根上中学校を統合し義務教育学校として整備。案5は、浜小学校、根上中学校に福岡小学校も含めて統合し義務教育学校として整備。

検討委員会では、将来の児童
生徒数の推移を見据えた学校規

なかむら
じゅんこ
中村 純子 議員
会派・漸進



▲浜小学校 (平成3年頃)

こんな質問も

- ・新病院建設
- ・外国人支援



持続可能なまちづくりを問う

答 弁 地域産業発展と環境との調和を図る

山本 峰子 議員
のみの虹

Q 企業集積に対する市の認識は

A 企業進出や大型投資は、税金増、雇用創出、人口減少抑制、地域経済の活性化など多くの効果が期待される一方、人財確保や交通渋滞、環境への影響も懸念される。市は経済的な恩恵を最大限に生かしつつ、地域や企業と協力して課題への対策を講じ、持続可能なまちづくりの実現を目指す。

イダンスや小学生への体験教室を実施し、地元産業への理解を促進している。また、家賃補助や奨学金返還支援などでUターンや若年層の定着を促進し、持続可能な能美市の実現に取り組む。



▲企業と手取川（イメージ図）

Q 市内の高校生や若者が地元企業や地域産業に関わり続けられる環境づくりにどう取り組むか

A 少子化や進学率の上昇により人財確保が課題となる中、市は高校生向け企業

こんな質問も

- ・工業用水の管理
- ・環境汚染対応
- ・災害時応援協定



能美市の労働安全行政を問う

答 弁 二度と起こさない決意で取り組む

中野 廣志 議員
創生のみ

Q 市の衛生委員会での職員の意見反映状況を問う

A 職員の意見を真摯に受け止め、職場環境の改善や労働安全衛生対策に反映させるよう努めている。

Q 安全配慮義務の取組で効果と今後の方針を問う

A 全職員を対象としたストレスチェックの定期実施や職場環境向上研修を通じて、早期に対処できる環境整備に努めている。先月からは外部相談窓口を開設し、所属課以外のメンバーにも相談できるようメンター制度の充実を図っている。

Q 組織改革、再発防止策について、今後の意気込みを、市長に問う



A 同じ過ちを二度と繰り返さない、この強い決意を新たに、私自身、常に心に刻んでいる。

相談と迅速な対応につなげる体制の構築、ゆとりを持った仕事の進め方、事業のスクラップ・アンド・ビルドを鋭意検討し、自らが先頭になって取り組みを進める。



▲風通しの良い職場環境づくりへ

※メンター：相談相手・寄り添い役として、職場や職員のささいな変化や不調のサインにいち早く気づき、早期支援につなげる役割を担う



第3次総合計画の策定方針を問う

答 弁 能美市らしいまちづくりを進める

東 正幸 議員
能美保守の会

Q 第3次能美市総合計画の策定でまちづくりのテーマ公募のプロセスと狙いを問う

A 市民に計画づくりの意識を持って頂き、共につくり上げる「市民の計画」としていくことを狙いとしており、市民の主體的な参画と計画への共感につながると考えている。

Q 市のキャッチコピー「したいこと能美市だらうかも」を計画のサブテーマに設定した思いを問う

A 市民に一定の定着が見え来訪者や進出企業からも高評価を得られている。このキャッチコピーのメッセージも感じられるような総合計画にしたいと考えている。



▲第1次、第2次の能美市総合計画

こんな質問も

・第2次計画総括



データセンターを誘致せよ

答 弁 県と連携し、調査研究に努める

卯野 修三 議員
能美保守の会

Q 高市政権はAI人工知能の研究開発、利活用を推進する地域未来戦略を取りまとめ、富山県南砺市でも東京、大阪に次ぐ国内第3のデータセンター集積地を目指し動き始めた。能美市のいしかわサイエンスパークにはJAISTなどがあり、シリコンバレーならぬ能美HILLTOP構想の可能性が考えられる。莫大な電力の確保など、課題は多々あるが、県とも連携して誘致はできないか

ある。一方、大量の電力と水が必要で浸水、落雷、土砂災害のリスクなどを確認し、広い敷地、騒音、排熱など周辺環境への影響も見極めて総合的な判断が不可欠。データセンター誘致は、石川県と連携し情報収集と調査研究に努める。



▲知と産業を創造するサイエンスパーク

こんな質問も

- ・小中学生スマホ等の適正利用
- ・市の婚活支援



ハラスメント事案の調査を問う

答 弁 必要に応じ適切に調査実施する

山崎 主税 議員
無会派



Q 職員アンケートで報告されたハラスメント事案に対し、市独自の実名調査やヒアリングを行う考えはあるか。
また無視等の行為にも、厳格な処分基準を適用していくのか問う

A 風通しの良い職場づくり推進委員会において、現在検討されている。あわせて職員の心理的余裕を生み出すため、業務の効率化や削減についても取り組んでいく。

A 具体的な情報提供に基づき、対応が必要な場合は事実関係の調査を適切に実施する。ハラスメントと認定された場合には、適正に対処する。

Q 職員が誇りとやりがいを持ち働けるよう、提案や表彰制度、直接対話の場など、プラスの職場文化の醸成に向けた具体的な施策を推進する考えがあるかを問う



▲楽しくやりがいがある職場（イメージ図）

こんな質問も
・AI活用について
・住民ポータルアプリについて



風通しの良い職場環境づくりを

答 弁 メンタルヘルスケアが市のガバナンス基盤だ

澤田 貞 議員
清風



Q ハラスメント防止対策事業【新規】について問う

A 円滑な行政運営を行うためには、職員が業務に集中し、能力を十分に発揮できる職場環境の整備が不可欠である。この事業で、ハラスメントで悩む職員が、気軽に相談できる外部相談員による窓口を設置した。

相談窓口の整備に留まらず、職員一人ひとりが尊重され安心して働ける職場環境を理念に掲げて協議を行っている。

Q 休職職員へのケアなど市のガバナンスを問う

A 職員の休職の理由は病気やけがなど様々であるが、心身の不調で休職している

こんな質問も

・市将来ビジョン
・地域共生交流館
・病院の建て替え



▲心身のダメージが進む（イメージ図）

重点支援地方交付金の代替財源は

答 弁 交付金対象拡充など国に要望する

荒井 昌宏 議員
創生のみ



Q 重点支援地方交付金を活用して、給食センター購入材料費の支援を実施しているが、交付金で不足する場合の代替の財源確保を検討しているか

改定では居住費の見直しはされなかったため、価格転嫁が困難な光熱費への対応を目的に、市内3病院に対して、1床当たり1万2,000円の補助金を支給した。さらなる物価高騰の影響について動向を注視していく。

A 重点支援地方交付金を令和8年度中学校給食費の財源に充てており、代替財源については、中学校の給食費負担軽減交付金の対象として拡充することや、算定単価の増額などを引き続き国に要望していく。

Q 重点支援地方交付金を活用して、令和7年度は市内の医療機関への支援を行ったが、交付金の活用目的は何か。今後も支援を検討しているのか

A 2年に一度の診療報酬改定において、令和6年度



▲重点支援地方交付金を活用した学校給食

こんな質問も
・企業誘致



大型屋内遊戯施設の整備構想は

答 弁 県と連携して検討を進める

今尾 晃司 議員
流和のみ



Q 屋内遊戯施設整備について県との協議内容を問う

A 辰口丘陵公園のにぎわい創出に関する協議を、石川県、県民ふれあい公社、市の三者で行っている。猛暑時や降雨・降雪時でも利用可能な全天候型の大型屋内遊戯施設についても、必要性や整備、管理等の課題の検討、協議を行っている。

Q 市はどのような構想を持って連携を図るのか

A 知事が「あめるんパークのような施設を市や町と連携して整備できないか研究したい」との方針を示したことは認識しており、市が目指す「こどもまんなか社会の実現」と合致する。



▲みんなワクワク屋内遊戯施設（イメージ図）

こんな質問も

・子どもを守る
安全確認体制
防犯カメラ設置



こども性暴力防止法 へ体制整備は

答 弁
**総合窓口等必要な
整備進めている**

Q 今年12月25日、「学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律（こども性暴力防止法）」が施行される。市の体制整備を問う

A 市は、小中学校と公立認定こども園等の事業者として、法施行に向けた体制整備を計画的に進めている。

「こども相談ステーション」を総合相談窓口として整備し、性暴力に関する相談でも関係者への対応や専門職による心のケアを行うなど支援に努めている。今後、性暴力を把握した場合の流れや事業者との共有を進める。

制度開始に向け、特定性犯罪



せんたい けんぞう
仙台 謙三 議員
公明党

前科の有無を確認するため、GビズIDを取得した。また、性暴力を防ぐ取組などを子育て支援課と総務課で情報共有に努めている。

放課後児童クラブ・病児保育などは「こども性暴力防止法」義務化の対象外だが、国の認定を受けるなど、必要な手続や準備を進め体制を整えていく。



こまもろうマーク
(上) 法定事業者用
(左) 認定事業者用

こんな
質問も

- ・ 地域交流の学校
- ・ 社会保障ゲーム
- ・ 教員の残業時間



※GビズID: 全事業者対象の共通認証システム。各種手続きや認可申請などの行政手続きに使用するもの

ピーファス 汚染問題を問う

答 弁
**不安払拭へ
国に要望などの対策**

Q 有機フッ素化合物（ピーファス）による井戸水等の汚染が問題となる中、市として土壌検査、血液検査を行うべきではないか

A ピーファス・ピーフォアは、土壌汚染対策法の特定期間内に含まれておらず、安全性を判断する基準が設定されていないことから、市独自の土壌検査をする予定はない。

Q ピーファス・ピーフォアの水道水の基準値が日本は高い。アメリカ並みに引き下げよう国に求めよ



さえき ふみこ
佐伯 富美子 議員
日本共産党

A 日本の基準は科学的根拠に基づくリスク評価で設定され、国は今後の知見累積に応じて基準値見直しを行う方針。一方、環境水や血中濃度には安全性の基準値がなく市民の不安払拭が困難。市は国に法整備等の対策を要望しており、6月10日には能美・白山市長が環境省・農水省に直接要望した。



▲ピーファス問題学習会

こんな
質問も

- ・ 中東情勢対策
- ・ 補聴器助成

